

○コンクリート製品と震災がれきを使用した「粘り強い海岸堤防」の取り組み状況

仙台湾南部海岸堤防復旧の取り組みについて

～『明日へつなぐ』仙台湾南部海岸堤防復旧プロジェクト～

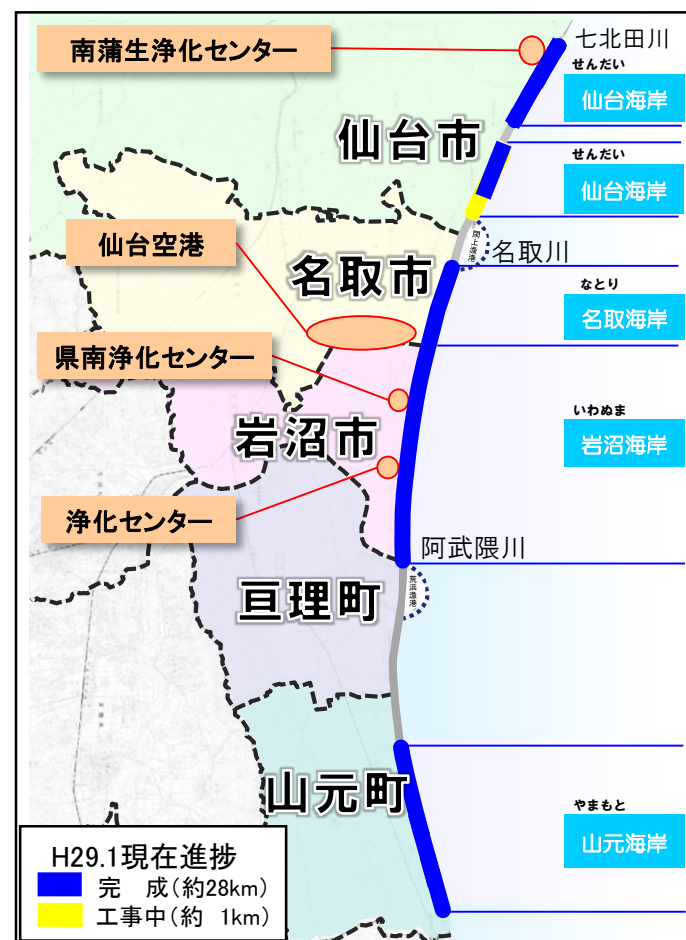
がんばろう！東北

【山元海岸】



▲山元海岸堤防被災状況 中浜〔7号HL〕（H23.3.23撮影）

○海岸堤防の本復旧（直轄）進捗状況

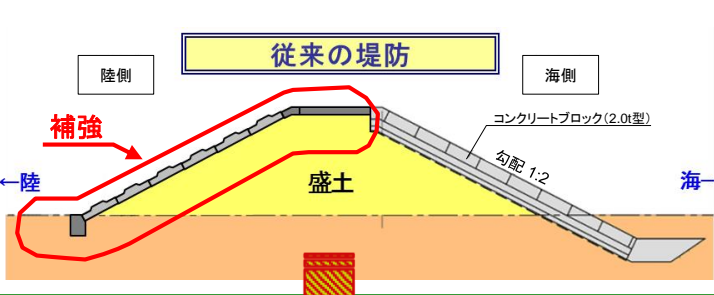


進捗状況				
H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
応急復旧完了	堤防整備（全長29km）			全体で約27km完成
	仙台空港区間等約5km完成	名取海岸等約20km完成		

- 平成24年1月 本復旧に着手
- 平成25年3月 約5km復旧完了（重要施設を保全する海岸堤防）
- 平成28年12月末時点 全体延長の約100%（約29km）区間で工事着手済み、うち約96%（約28km）が復旧完了（上記5kmを含む）
- 海岸堤防率完成約100%（一部樋門工事施工中）

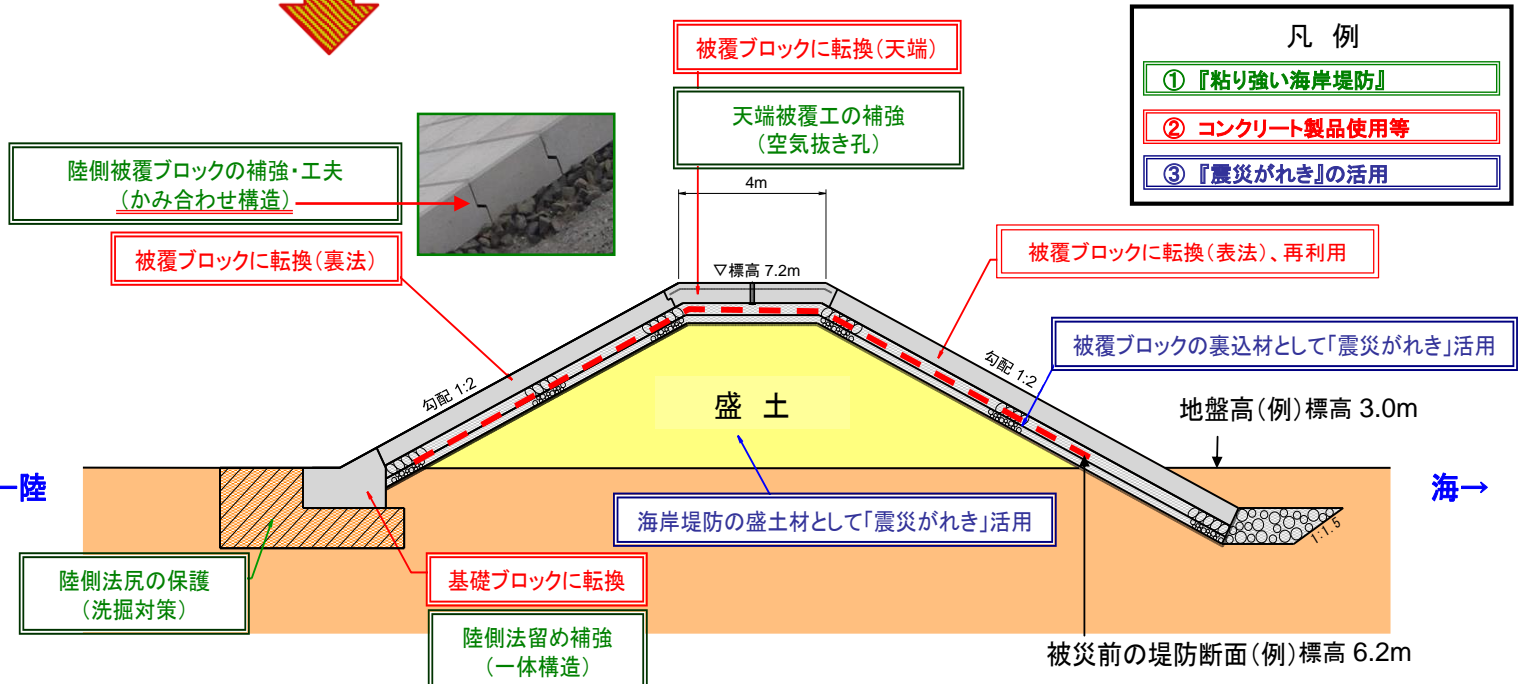
① 『粘り強い海岸堤防』

- 今次津波のような巨大な津波が来襲しても、海岸堤防の効果を粘り強く発揮する構造上の工夫
- ・少しでも避難時間を確保
- ・堤防全壊の危機性を低減



② コンクリート製品使用への転換及び再利用

- 生コンクリートの供給不足に対応し、海岸堤防を被覆するブロックなど可能なものはコンクリート製品使用に転換(約30万m³)
- 被災を受けた海岸堤防の既設ブロックを可能なかぎり再利用



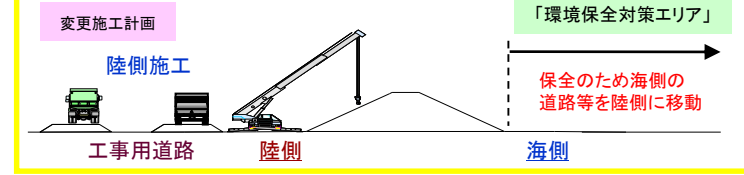
③ 『震災がれき』の活用

- 仙台市内及び名取市内、山元町内で発生した『震災がれき』約30万m³を海岸堤防復旧に活用
- 【震災がれき活用による効果】
- ① 海岸堤防の建設資材の安定供給
- ② 交通渋滞の緩和・事故抑制、及び生活環境負荷の軽減
- ③ 震災がれき処理の軽減



④ 景観・環境への配慮

- 自然環境（動植物）に配慮して海岸堤防復旧を進めるため、学識経験者等から助言を得ながら、環境モニタリング・保全対策（環境影響の回避又は低減等の措置）を実施
- 【具体的な環境保全対策の例】
- ① 海岸堤防や工事用道路のルート調整
- ② 施工時期の調整（動植物の繁殖期などを踏まえた施工）
- ③ 資材置き場や施工ヤードの変更



○ 海岸保全施設の被害と復旧状況 (山元海岸)

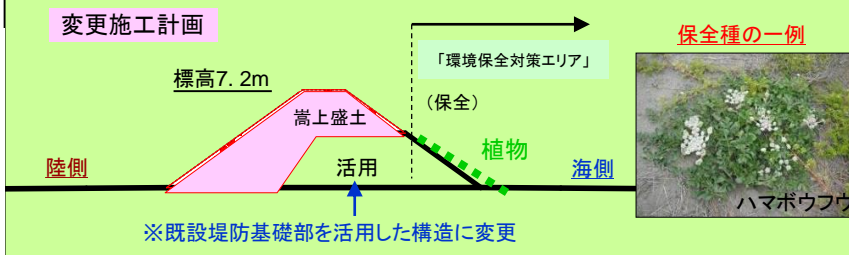


▼ 山元海岸の状況



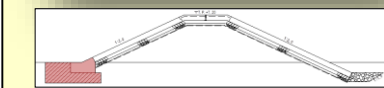
《 貴重な動植物保全 》

笠野工区では津波による被災を受けたものの、貴重な動植物の生存が確認されており、保全する必要があることから復旧堤防の施工方法を調整し環境保全を実施しました。



○ 海岸堤防完成までの工事の様子

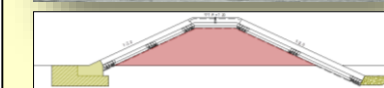
【①陸側基礎地盤改良】



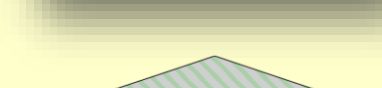
【②海側基礎捨石】



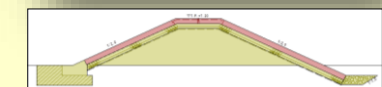
【③築堤盛土】



【⑥完成】



【⑤被覆ブロック設置】



【④裏込砕石】

